

I 第2週の発生動向 (2017/1/9~2017/1/15)

1. インフルエンザについては、五所川原保健所管内、上十三保健所管内で、**注意報**が継続しています。特に五所川原保健所管内では、報告数が前週より更に増加し、定点当たり報告数が警報レベルに近づいてきていますので、注意が必要です。

弘前保健所管内では、報告数が前週の2倍以上に増加し、注意報レベルに近づいていますので、注意が必要です。

インフルエンザの感染を広げないために、一人一人が「**かからない**」「**うつさない**」対策を実践しましょう。
インフルエンザの感染を防ぐポイント 「手洗い」「マスク着用」「咳(せき)エチケット」

[\(政府広報オンライン\)](#)

2. 感染性胃腸炎については、三戸地方保健所+八戸市保健所管内で、報告数が前週の2倍以上に増加しましたので、注意が必要です。
3. 流行性角結膜炎については東地方保健所+青森市保健所管内で報告数が増加していますので、注意が必要です。

II 第2週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

	東青 (東地方保健所+青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方保健所+八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科 内科	インフルエンザ															
	99	7.62	128	8.53	74	4.93	143	23.83	164	18.22	35	5.83	643	10.05	177	
小児科	RSウイルス感染症															
		3	0.38	2	0.22	1	0.10	5	1.25					11	0.27	3
	咽頭結膜熱															
		1	0.13	1	0.11	3	0.30	2	0.50	1	0.17			8	0.20	-8
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎															
		4	0.50	9	1.00	20	2.00	1	0.25			1	0.25	35	0.85	-4
	感染性胃腸炎															
		24	3.00	13	1.44	126	12.60	36	9.00	42	7.00	24	6.00	265	6.46	59
	水痘															
		1	0.13	1	0.11	3	0.30	1	0.25			1	0.25	7	0.17	0
手足口病																
					7	0.70			2	0.33			9	0.22	3	
伝染性紅斑																
	1	0.13							3	0.50			4	0.10	-3	
突発性発しん																
	2	0.25	3	0.33	2	0.20			2	0.33	2	0.50	11	0.27	-11	
百日咳																
															0	
ヘルパンギーナ																
	3	0.38			1	0.10							4	0.10	3	
流行性耳下腺炎																
			1	0.11					4	0.67	7	1.75	12	0.29	-3	
眼科	急性出血性結膜炎															
															0	
流行性角結膜炎																
	7	3.50			2	1.00							9	0.82	-3	
基幹	クラミジア肺炎															
															0	
	細菌性髄膜炎															
				1	1.00									1	0.17	1
	マイコプラズマ肺炎															
					1	1.00	1	1.00			6	6.00	8	1.33	7	
無菌性髄膜炎																
															0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)																
											2	2.00	2	0.33	0	

は警報、は注意報。「空欄」:患者報告無し。

感染症の窓

麻しん (五類全数把握疾患)

麻しん(はしか)は、麻しんウイルスによって引き起こされる急性の感染症です。

感染経路は、**空気感染**、**飛沫感染**、**接触感染**で、ヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強いと言われています。感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れ、2~3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発症すると言われています。

2010年~2016年の患者報告数をみると、全国では、2014年まで200人台~400人台で推移した後、2015年は35人に減少したものの、2016年には159人に増加しました。青森県では、2010年に7人の患者が報告されましたが、2011年以降は麻しんの患者は報告されていません(表)。免疫を持っていない人が麻しんウイルスに感染するとほぼ100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。麻しんは、**ワクチン接種が予防に有効**です。ワクチン接種については、厚生労働省のホームページの「麻しんについて」にある「**麻しんのリーフレット1及び2**」をご覧ください。

表 麻しん患者報告数の推移

年	全国(人)	青森県(人)
2010	447	7
2011	439	0
2012	283	0
2013	229	0
2014	462	0
2015	35	0
2016	159	0

はしかワクチンの接種は、1歳になったら1回、小学校入学前の1年間にもう1回

○ 詳しくはこちらをごらんください [厚生労働省\(麻しんについて\)](#)

Ⅲ 全数把握疾患

- ・結核(二類全数把握疾患)：東地方+青森市3人、三戸地方+八戸市1人、上十三1人 (2017年計：7人)
- ・E型肝炎(四類全数把握疾患)：弘前1人 (2017年計：1人)
- ・カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(五類全数把握疾患)：三戸地方+八戸市1人 (2017年計：1人)

Ⅳ 病原体検出情報

※()内は、検査材料及び検体採取日です。

- ・熱性けいれん患者(咽頭ぬぐい液、12/9)・・・ヒトライノウイルスB：むつ1人
- ・麻しん疑い患者(咽頭ぬぐい液、12/26)・・・HHV7：青森市1人

Ⅴ 県内インフルエンザ情報(2016年第37週～2017年第2週)

第2週の患者報告数は643人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは632人

【A型：629人、B型：3人】でした。

保健所管内別届出人数(人)

週	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	1	2
東地方+青森市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	11	18	23	24	72	99
弘前			1					1		4		3	6	12	11	37	63	128
三戸地方+八戸市								9	3	7	2	8	7	10	12	55	45	74
五所川原								4	1	1	3	2	17	55	51	115	90	143
上十三									2	1	8	35	30	47	39	74	149	164
むつ										1	3	1	1	2		41	47	35
合計	1	0	1	0	0	0	0	14	6	14	16	53	72	144	136	346	466	643

A型(迅速診断キットによる型別)(人)

週	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	1	2
東地方+青森市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	10	18	22	24	68	94
弘前			1					1		4		3	6	12	11	37	63	127
三戸地方+八戸市								9	3	7	2	8	7	10	12	54	44	73
五所川原								4	1	1	3	2	16	55	51	115	89	143
上十三									2	1	8	35	29	45	37	74	148	158
むつ										1	3	1	1	2		39	47	34
合計	1	0	1	0	0	0	0	14	6	14	16	53	69	142	133	343	459	629

B型(迅速診断キットによる型別)(人)

週	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	1	2
東地方+青森市													1		1		2	
弘前																		
三戸地方+八戸市																1		1
五所川原																	1	
上十三													1				1	1
むつ																2		1
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	3	4	3

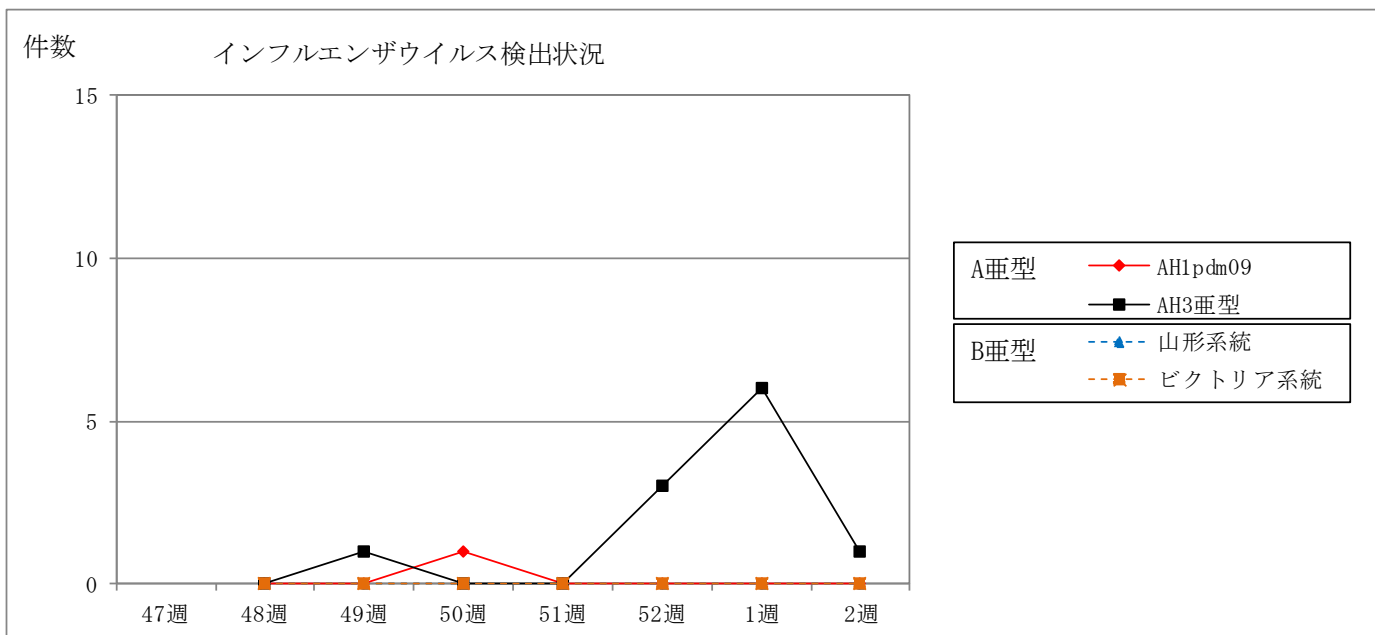
年齢区分別(人)

週	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	1	2
～5ヶ月															1	2	2	2
～11ヶ月															2		7	6
1歳											1		1	1	2	5	6	18
2歳								3					4	3	4	6	14	20
3歳								1	1			2	4	8	7	7	11	21
4歳								1				1	3	1	3	3	7	25
5歳										1			1	5	3	14	13	22
6歳								3			1	2	5	7	2	8	8	23
7歳										1		4		5		4	13	11
8歳									1	1	1	2		5	4	9	6	8
9歳										1	1	5	2	5	5	7	6	9
10～14歳									1	1	5	10	18	32	24	57	32	49
15～19歳										4	1	6	8	35	13	29	32	40
20～29歳								3			1	3	1	7	8	44	58	67
30～39歳			1						1	1	1	2	5	8	11	30	61	64
40～49歳								1	1	1	1	5	13	4	14	29	50	53
50～59歳										1	1	5	4	8	11	23	44	59
60～69歳	1							1		2	1	5	2	5	10	23	44	50
70～79歳														3	4	20	23	48
80歳以上								1	1		1	1	1	2	8	26	29	48

VI 県内インフルエンザウイルス検出状況（県が指定した医療機関（指定提出機関）の提出検体の検査結果）

インフルエンザウイルス		2016年					2017年		直近5週間 合計	2016/2017 シーズン合 計	
		47週	48週	49週	50週	51週	52週	1週			2週
提出検体数		0	3	1	1	1	4	7	1	14	19
A亜型	AH1pdm09		0	0	1	0	0	0	0	1	1
	うちタミフル耐性株				検査中						
AH3亜型			0	1	0	0	3	6	1	10	11
B亜型	山形系統		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ビクトリア系統		0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計			0	1	1	0	3	6	1	11	12

注）2016/2017シーズンは2016年第36週（9/5～9/11）～2017年第35週（8/26～9/3）



VII 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2016年第51週～2017年第2週）

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
51	H28.12.19 ~ H28.12.25	アメーバ赤痢1人					
52	H28.12.26 ~ H29.1.1	侵襲性肺炎球菌感 染症1人					
1	H29.1.2 ~ H29.1.8				レジオネラ症1人		
2	H29.1.9 ~ H29.1.15		E型肝炎1人	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人			

VIII 結核(二類全数把握疾患) (2016年第51週～2017年第2週)

(人)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
51	H28.12.19 ~ H28.12.25	1	2	4		1	
52	H28.12.26 ~ H29.1.1	4		1			
1	H29.1.2 ~ H29.1.8	2					
2	H29.1.9 ~ H29.1.15	3		1		1	

IX 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2017年第1週までの累計）

分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	デング熱	マラリア	レジオネラ症	アメーバ赤痢	
累積報告数	187	3	9	2	1	3	3	1	20	8	

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒
累積報告数	4	9	6	6	5	1	6	44	3	26

分類	五類	五類	五類
疾病名	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	麻しん
累積報告数	1	2	2

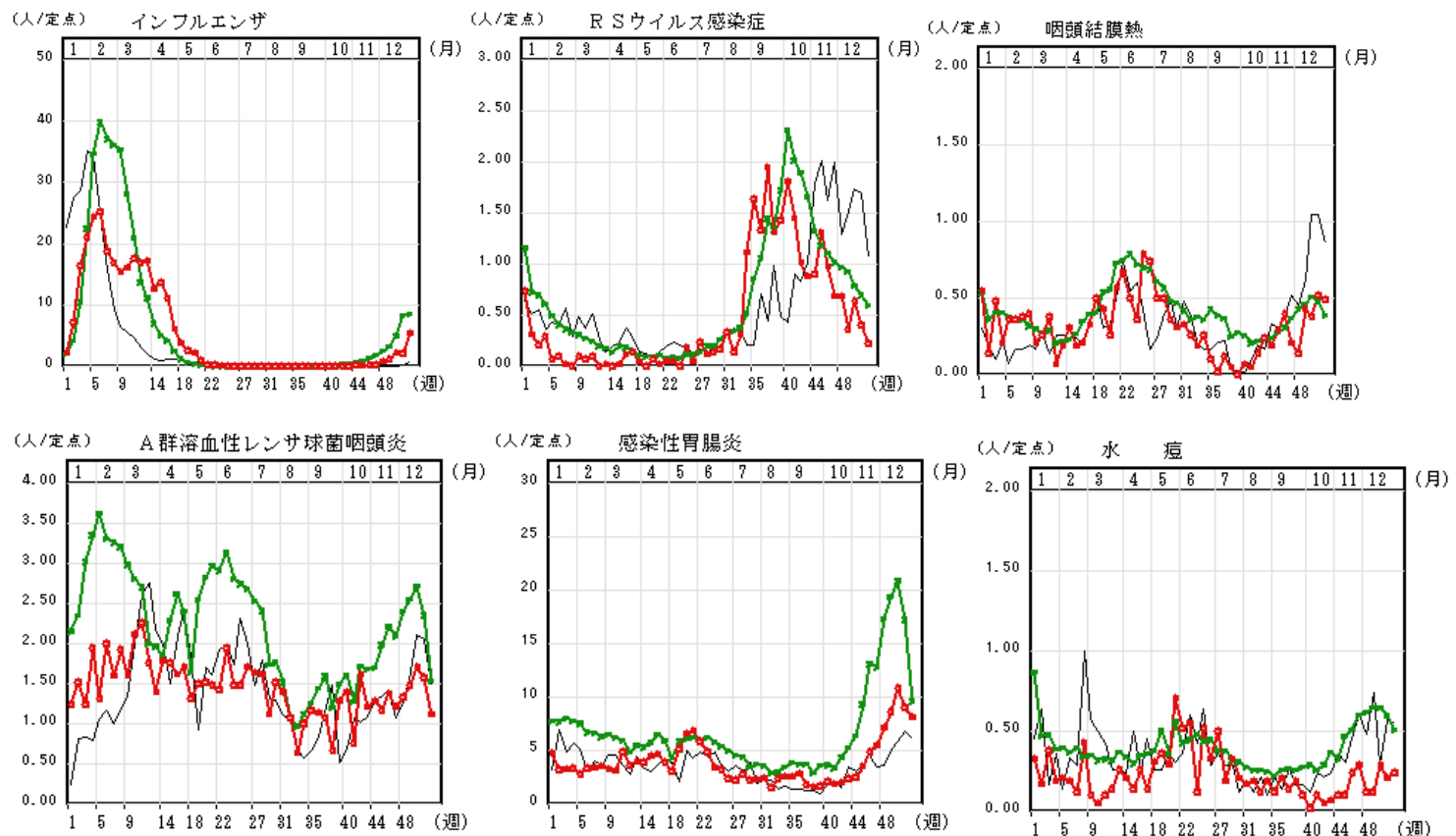
青森県（2017年第2週累計）

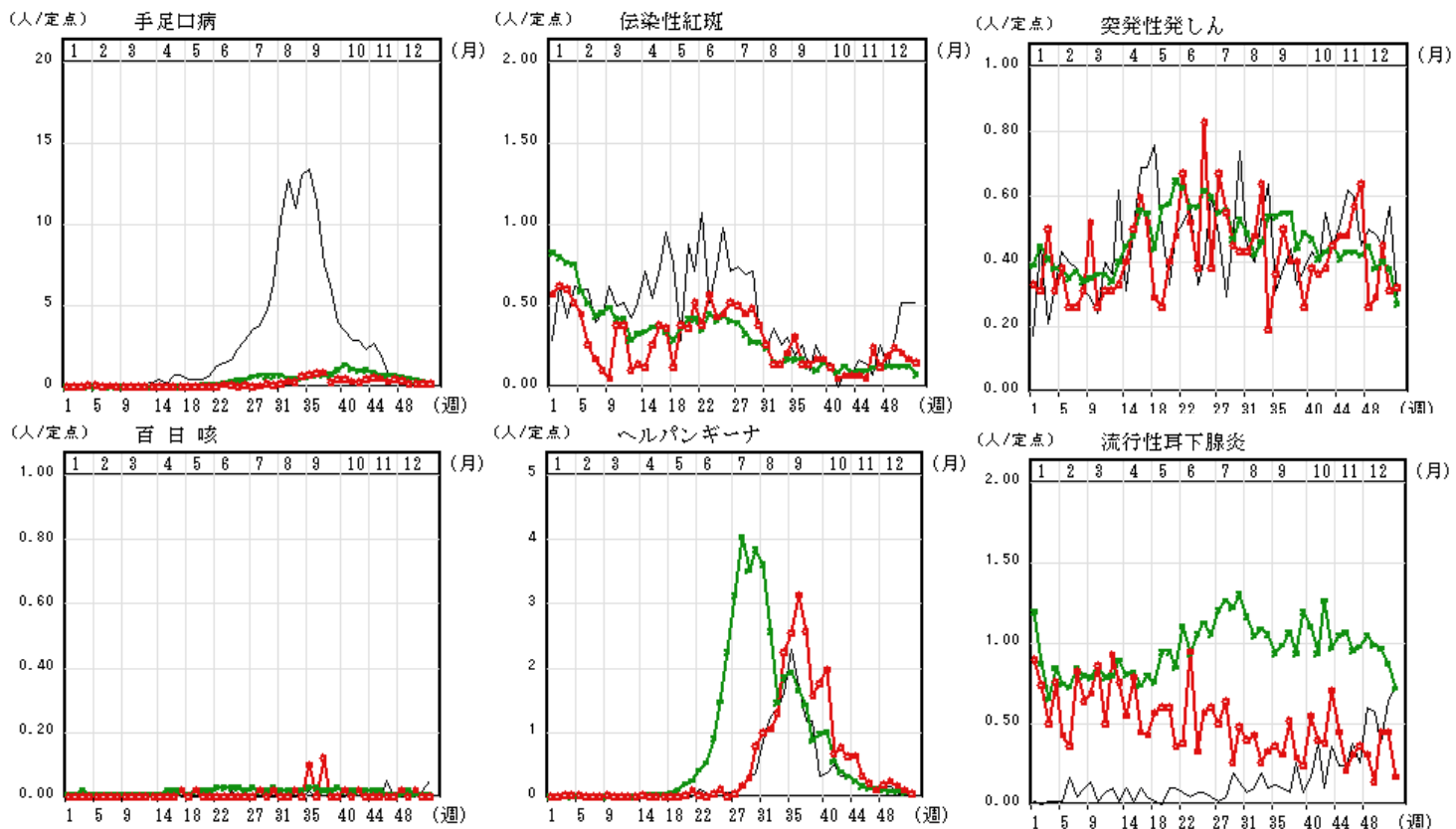
分類	二類	四類	四類	五類
疾病名	結核	E型肝炎	レジオネラ症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症
累積報告数	7	1	1	1

X インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

（システムの不具合により、2017年の情報は掲載できませんので、システムが回復するまで2016年の情報を掲載します。）

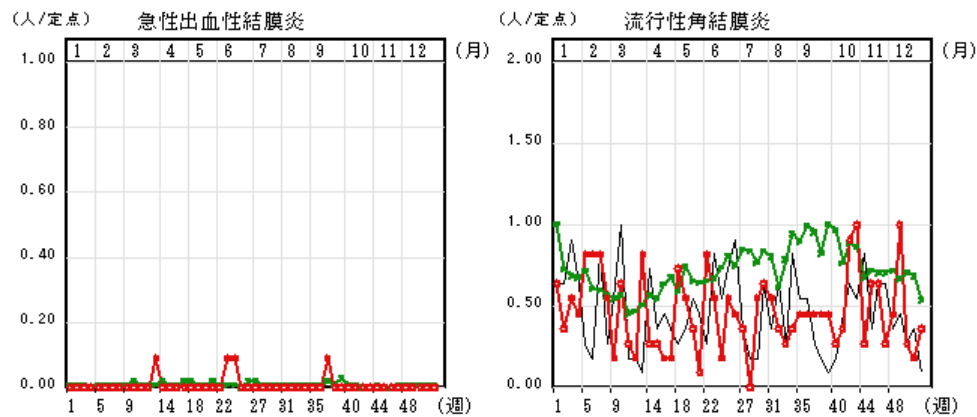
グラフの説明 ○—○は2016年青森県、——は2015年青森県、×—×は2016年全国





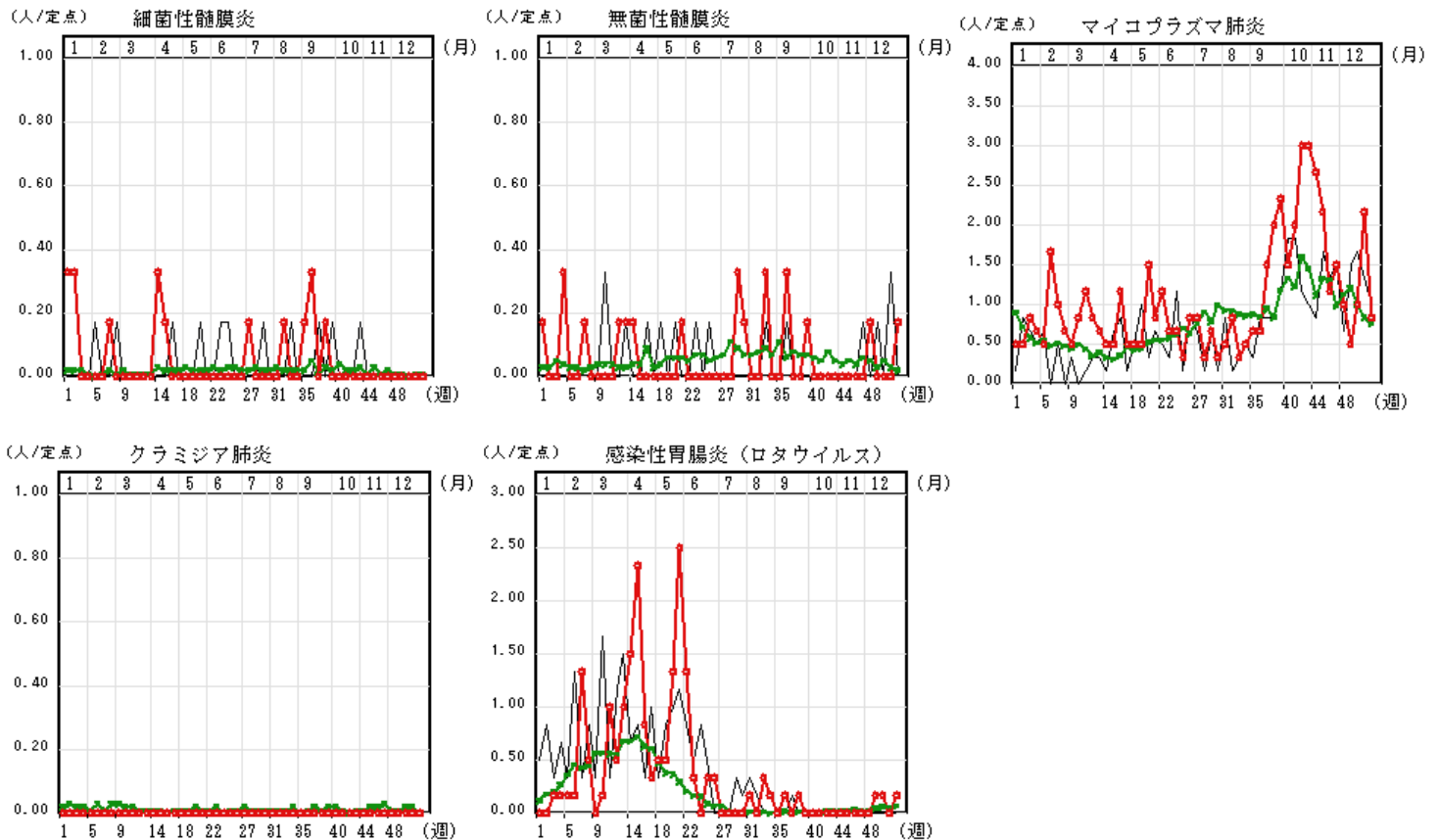
XI 眼科定点把握疾患週別推移

(システムの不具合により、2017年の情報は掲載できませんので、システムが回復するまで2016年の情報を掲載します。)



XII 基幹定点把握疾患週別推移

(システムの不具合により、2017年の情報は掲載できませんので、システムが回復するまで2016年の情報を掲載します。)



XIII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成29年第2週

報告週 (第1報)	施設種別	発症者数	管轄保健所
第2週	児童・婦人関係施設等	13	八戸市保健所

平成29年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月		計 (施設別)
		1週	2週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	0	0
	発症者数	0	0	0
児童・婦人関係施設等	件数	0	1	1
	発症者数	0	13	13
障害関係施設	件数	0	0	0
	発症者数	0	0	0
その他施設	件数	0	0	0
	発症者数	0	0	0
計(月別)	件数	0	1	1
	発症者数	0	13	13